

**この検査をご希望の方は、精液検査当日、  
検体と一緒にこの用紙を提出してください**

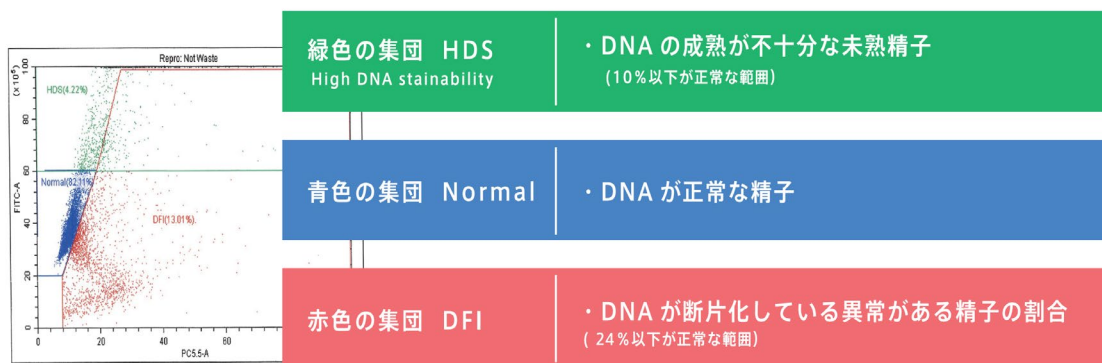
## 【DFI 検査のご案内】

### DFI 検査によって精子機能(精子の質)の評価が可能になります

一般精液検査は精液量、精子濃度、精子運動率、正常形態精子率といった項目を評価するもので、男性不妊の治療方針を考える上で重要ですが、この検査のみでは精子の質を十分に反映できていない可能性が指摘されています。精子は酸化ストレスにより DNA が損傷 (DNA の断片化) することがあり、男性不妊症では DNA の損傷を受けた精子の割合 (断片化率) が高いと言われています。精液検査で異常がないケースでも精子の断片化率が高い場合には受精率や妊娠率が低くなったり、流産率が高くなったりします。

### 精子 DNA 断片化指数の評価

DFI 検査では、精子の DNA 状態を調べ、DNA が損傷している精子の割合を測定します。精子を染色し、検査機器で測定すると、下図のように正常精子は青色、未熟精子は緑色、DNA 損傷精子は赤色に染色され、どの程度の割合で精子の DNA が損傷しているのかを調べます。



### なぜ DFI 検査をするのか？

DFI 検査により男性側の隠れたリスク因子を特定できる可能性があります。DNA 損傷の改善を目的とした「生活習慣改善の必要性」や「抗酸化サプリメントの服用」、「精索静脈瘤手術の必要性」、また、「ART へステップアップのための判断」など、今後の治療方針を立てるための目安となります。

**費用**：1回 (自費) 16,500円(税込) 精液検査込み